



かなざきひさを応援する会・会報 38号 事務局 上山口 1878 番地の 9

Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425 E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp

葉山町議会第 3 回定例会が開催されました。 期日平成 21 年 9 月 10 日～10 月 16 日

○平成 20 年度決算の審査が行われ、認定されました。

平成 17 年度	予算額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	約 102 億 782 万	約 102 億 8,978 万	約 98 億 576 万	約 4 億 8,403 万
国民健康保険特別会計	約 27 億 6,545 万	約 27 億 9,838 万	約 26 億 7,608 万	約 1 億 2,230 万
老人保険医療特別会計	約 26 億 3,927 万	約 26 億 1,756 万	約 26 億 1,552 万	約 203 万
介護保険特別会計	約 17 億 7,358 万	約 17 億 4,791 万	約 17 億 4,490 万	約 300 万
下水道事業特別会計	約 21 億 816 万	約 21 億 2,934 万	約 20 億 5,456 万	約 7,478 万
合計	約 194 億 9,428 万	約 195 億 8,297 万	約 188 億 9,682 万	約 6 億 8,614 万

平成 17 年度に行われた主な新規事業

- (仮称) 保育園・教育総合センター複合施設整備事業 4 億 895 万 4 千円
永年の懸案だった福祉と教育の連携が行われます。
- 小児医療費助成事業の拡充 4,532 万 7 千円
支給年齢が就学前児童から 7 才に改正されました。総支給件数 23,564 件
- 私立幼稚園就園児助成費の引き上げ 4,704 千円
町内外の私立幼稚園児の保護者に対して、8,000 円/1 人の助成を行いました。対象者 588 人
- 緑の基本計画見直し 693 万円
- 議会ホームページ開設 63 万円
葉山町ホームページ (<http://www.town.hayama.lg.jp/>) からアクセスできます。議事録など掲載されておりますので是非ご覧下さい。
- 広報紙のポスティング配布 126 万 7 千円
17 年度は 10 回分です。2 回は新聞折込でしたのでその費用は 26 万 9 千円です。19 年度は議会だよりもポスティング配布にする予定です。
- うき・ウキーはやま推進事業 25 万 3 千円
ライフジャケット着用の推進など、ヨット発祥の地である葉山での全国初の試みです。

その他、所属している会派(新葉クラブ)として町民との協働を図るため「100 人規模の町民会議を」との提案を続けて参りましたが 17 年度「まちづくり町民会議」の設置が行われました。そのことにより新葉クラブはマニフェスト大賞の全国最優秀会派として表彰されました。

○かなざきひさの一般質問

ごみ問題について



今回は、ごみに関する諸問題に限って質問をいたしました。しかし、私の質問に対して、町長は故意か過失か分かりませんが、的外れな答弁をとうとうと行い、大切な 1 時間の質問時間の内の 30 分も費やしました。途中、答弁の打ち切りを願って挙手をしましたが、議長が私の気持ちを察し、自ら町長に「完結に」と指示をしましたが、全く態度を変えようとしませんでした。そこで、見かねた待寺真司議員が休憩の動議を出し、森勝美議員を除く全議員の賛成で動議が成立しました。その後、議会運営委員会が開かれ、30 分の私の質問時間を保証してくれることとなり、質問が再開されました。

質問と提案	理事者側の答弁
住宅倍増の影響により交通網の整理が必要であるが、三浦半島中央道のトンネルの池子までの延伸に対し町として県への要請は。	迷惑を被るのは葉山側であり、平成 6 年開村当初の約束なので早急に果たしていただきたいとお願いしている。 (町長)
現在 283 世帯であるが、横須賀市の補助なしで何人の児童を上山口小学校に受け入れているのか。	29 人。 (教育次長)
上山口小学校の活性化のためには大変良いことではあるが、今後の増員に備え横須賀市と補助などの話し合いは。	教職員の広域人事などのメリットも考慮しながら、受け入れ人数の限界などを検討したい。 (教育長)
かなざきひさの考え 上山口小学校の全児童数は 198 人です。そのうちの 29 人なので経費の占める割合も大きなものとなっています。住宅倍増により更にたくさんの児童を受け入れることは上山口小学校の活性化にはとても役立つことで奨励できますが、やはり何らかの補助について横須賀市と話し合うべきと考え提案いたしました。	

(2) 心身障害者手当支給事業について

昨年度大幅な減額が行われましたが、改善を願って質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
18年度予算額が1,950万円の減額で手当てが半減された。見直しの見込みは。	町単独の事業であり、30年以上経過しているため、総合的福祉施策の中で考えたい。(町長)
一律減額であるが、所得制限などで必要な方に手厚くという施策にするべきではないか。	現時点では所得制限をかけるつもりはない。(福祉環境部長)
障害者自立支援法は3障害の一元化が図られているが、それに沿うと精神障害者も含めるべきだ。	19年度からはそのように考えている。(町長)
かなざきひさの考え 障害者自立支援法の施行により障害者を取り巻く環境が大変厳しいものとなっております。この支給事業は町独自の施策であり、財政も厳しい中ではありますが、必要なところに必要な財源を与える血の通った政策を行うよう、今後も粘り強く提案して参ります。	

(3) 就園援助事業について

少子高齢化が進む中、葉山で安心して子育てができる環境を整えることが最重要課題と考えております。

質問と提案	理事者側の答弁
私立幼稚園児の保護者に対して8,000円の助成をしているが増額などの見込みは。	昨年2,000円増額したが今後も子育て育成助成の見地から対応を図っていく。(町長)
町外の私立幼稚園通園児も対象なのか。	広報で知らせているが、町内外すべての私立幼稚園通園児を対象にしている。現在町外通園者96人である。(教育長)
枠配分の弊害により、私立幼稚園への補助金が削られているが。	総額が決まった中でのやりくりなので、教育委員会としては児童を中心に考え配分したので、園への補助を削らざるを得なかった。(教育長)
園への補助が減ることは保護者に対する保育料が上がる可能性がある。改善すべきではないか。	来年度復活できるよう、予算要望したい。(教育長)
かなざきひさの考え 子育て世代の人々に葉山に住み続けたいと思ってもらうためにはどうしても子育て支援の施策を充実させる必要があると思います。特に今の社会状況で一人の人がたくさん子どもを産んで育てることが、難しくなっております。しかし、子どもは葉山の宝です。子どもの声が聞こえるまちづくりに今後も力をそそぎます。	

(4) 観光について

葉山町の美しい自然をますます美しく創生して、住んでみたい町としての構築が、訪ずれてみたいまちづくりにつながるという観点から質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
葉山町を訪ずれる観光客の数は。	海水浴場の設置や花火大会などのイベントの開催などにより、年間80万人の人が訪れる。(町長)
森戸海岸の放置ボートが県の費用で10月にきれいに撤去された。美しい海岸で美しい富士山を楽しんでいただけたと思う。ご感想は。	ひとつのことを達成するには時間がかかるものだなあと感じている。今後は総合的見地から砂浜の活用を県と相談していきたい。(町長)
環境モニターアンケートによると、住宅地の緑化が望まれているが、かつて、町花のつつじなどを配布したこともあったがそのようなことは計画しないのか。	住宅事情が変化し、木を植える場所の確保がまず第1段階と思う。よく検討した中で考える。(町長)
今後の緑化に向けての施策は。	住宅の区画整理も必要と思っている。(町長)
町内で桜の美しい場所などがあるが、最近天狗巣病でソメイヨシノが衰えている。把握しているか。	承知している。専門家とも相談していた。(町長)
葉山の桜は素晴らしいので、手入れをする必要があるが。	来年度は予算をつけて、専門家と天狗巣病の対策を煮詰めていきたい。(町長)
葉山の良い所を来訪者にお知らせするためにもJR逗子駅に観光案内所が必要と思うが。	できればJR逗子駅に設置し、逗子と葉山でタイアップして行けると良いと思う。(町長)
かなざきひさの考え 葉山は、自然の美しさを大事に育てていくことで訪れてみたい町になり得ると思います。住宅の街と観光をいかにつなげるか、大変難しい課題ですが、まずは住んでいる私たちが、美しいと思えるような町にすることが大切だと思います。	

次回定例会は12月5日からです。傍聴して下さい。